

# はじめに

本県の農業改良普及事業は、魅力ある農業・農村の再興に向けて、「先進的農業に取り組む経営体の支援」、「地域農業の振興に向けた総合的な支援」を柱とした「協同農業普及事業の実施に関する方針」の下、国や市町村、関係団体と連携して普及活動に取り組んでまいりました。

東日本大震災から10年余り、創造的な復興の取り組みを着実に進め、ほ場の大区画化や担い手への農地集積による100haを越える大規模土地利用型経営体や高度な環境制御技術等を取り入れた先進的施設園芸経営体が次々と誕生しており、本県の農業構造は大きく変化しています。

一方、令和元年東日本台風の豪雨等による農地や農業用施設・機械への甚大な被害、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う農畜産物の生産販売額の低迷、海外情勢の緊迫化に伴う原油高、国内の市場規模縮小に伴う米の生産数量調整など、本県の農業を取り巻く情勢は厳しさを増しております。

このような中、本県の普及活動では、農業経営の安定化や地域農業の核となる経営体の持続的発展を図るため、スマート農業技術をはじめとするアグリテックの導入による生産性の向上、園芸作物の導入・定着、担い手への農地の集積・集約化の推進、中山間地域の活性化、新規就農者の確保・育成などを重点的に支援しております。

令和4年度は、県内9カ所の農業改良普及センターと農業革新支援専門員により、上記の支援に加え、令和元年東日本台風の被災地域における営農再開の支援等の計33のプロジェクト課題に精力的に取り組みました。

本書では、令和4年度に完了した課題を中心にその成果を取りまとめております。

令和3年3月に策定した「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画」に掲げるキャッチフレーズ「『共創力強化 ～多様な人材が豊かな未来をつくる みやぎの食と農～』のもと、今後とも農業改良普及センターでは市町村、農業団体、農業者等と連携し、「豊かな食」、「儲ける農業」の実現を目指して農業現場の課題解決に取り組むとともに、「活力ある農村」を次の世代につなげるため、農業者のみならず食に関係する全ての事業者や消費者の連携を推進してまいりますので、一層の御理解と御協力をお願いいたします。

令和5年5月

宮城県農政部長 橋本 和博

# 目 次

## I プロジェクト課題の活動事例 みやぎの農業を担う次代の人材育成と革新技術の活用等による生産基盤の強化

### 1 先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援

- (1) 和元年東日本台風被災農地の復興支援  
令和元年東日本台風被災農地の復興に向けた担い手確保  
竹谷地区基盤整備推進委員会20人……………大河原 2
- (2) 土地利用型法人の経営発展に向けて  
新たな品目・技術導入による土地利用型法人の経営発展  
農事組合法人長岡グリーンサポート、農事組合法人志賀……………亘 理 4
- (3) 中山間地域での持続可能な地域農業の構築  
下真山地区における農地整備事業を契機とした地域農業の発展  
下真山地区担い手候補者13経営体  
(法人経営体1法人、個別経営体12人)……………大 崎 6
- (4) 農地を守り次代へつなぐ 地域農業を支える 土地利用型農業法人の経営基盤整備  
土地利用型農業法人の早期経営安定  
農事組合法人おさとファーム役員5人……………美 里 8
- (5) 集落の調和を活かした法人経営を目指して  
集落の維持発展を目指す法人経営体へのステップアップ  
有賀宮農組役員9人(構成員66戸)……………栗 原 10
- (6) 集落営農における大豆生産及び法人経営の安定を目指して  
集落営農における大豆生産及び法人経営の安定  
農事組合法人ふくおか 理事7人……………栗 原 12
- (7) 農地整備後を見据えた担い手の挑戦  
農地整備を契機とした地域営農体制の構築  
古宿地区担い手経営体(13人(農業法人設立予定者含む))……………登 米 14
- (8) 復旧農地を担う大規模法人の課題解決に向けて  
長面地域における大規模土地利用型経営体の持続的な水田農業の実現  
株式会社宮城リスタ大川、農事組合法人みのり、株式会社ゆいっこ……………石 巻 16
- (9) 「気仙沼いちご」の増産を目指して  
いちごの栽培技術レベルアップによる収量向上  
階上いちご第2復興生産組合、シーサイドファーム波路上株式会社……………気仙沼 18
- (10) アグリテックを活用した農業生産の効率化  
農業経営の効率化に向けたアグリテックの活用  
アグリテックを導入した大規模土地利用型経営体8法人……………革 新 20

### 2 新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援

- (1) 若手果樹生産者の呼び込みと技術向上支援  
担い手の確保・育成による果樹産地の維持発展  
J Aみやぎ仙南角田地区梨部会2人、蔵王地区なし部会3人、若手果樹生産者8人  
(白石市2人、蔵王町4人、大河原町1人、丸森町1人)……………大河原 22
- (2) 若手いちご生産者の技術向上支援  
次代を担ういちご生産者の環境制御技術等の習得による生産性向上  
栽培を開始して1～3年のいちご生産者8人  
(管内いちご生産者及びいちご生産法人)……………亘 理 24
- (3) 担い手育成と果樹優良品種導入による果樹産地の維持発展  
担い手育成と果樹優良品種導入による果樹産地の維持発展  
若手果樹生産者6人：亘理町4人、山元町2人……………亘 理 26

### 3 先端技術等の推進・普及による農業経営の効率化・省力化支援

- (1) 水稲乾田直播栽培の普及拡大を目指して  
水稲乾田直播栽培の技術定着による収量向上

水稻乾田直播栽培実践農家3経営体 (水稻乾田直播栽培勉強会メンバー16経営体) ……………	仙 台	28
(2) 水稻乾田直播栽培技術の向上を目指して 水稻乾田直播栽培技術の向上と安定生産 有限会社おっとちグリーンステーション 農事組合法人六軒農産 農事組合法人ときなみファーム……………	登 米	30

#### 4 園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援

(1) たまねぎ産地の拡大に向けて 機械化一貫体系の導入によるたまねぎ産地の拡大 J Aみやぎ仙南たまねぎ部会員17人 (その他たまねぎ生産者および新規作付希望者) ……………	大河原	32
(2) 東北一のカーネーション産地の更なる発展を目指して 新たな取組の定着による持続可能なカーネーション産地の実現 名取市花卉生産組合のカーネーション生産者16人……………	亘 理	34
(3) 実需者ニーズに応じた「シャインマスカット」安定生産による産地形成の取組 「シャインマスカット」の産地形成に向けた生産・販売力向上 J A新みやぎあさひなぶどう部会 中核的農家5人(同部会員20人) ……………	仙 台	36
(4) 古川えだまめの産地化を目指して 「水田フル活用」に向けた土地利用型経営体によるえだまめの産地育成 農事組合法人大地・西荒井(構成員7人)、斎下生産組合(組員7人) (J A古川えだまめ生産者9経営体) ……………	大 崎	38
(5) にんじんの新たな産地化を目指して 土地利用型農業法人が取り組む加工業務用になんじんの生産安定 農事組合法人タカギ農産、農事組合法人中塚ファーム育み、農事組合法人中田アグリ、 農事組合法人サンファームあがと、農事組合法人みらいす青生……………	美 里	40
(6) 加工用ばれいしょの収量向上と担い手育成 金成津久毛地区における高収益作物導入・定着 津久毛地区担い手3経営体 (個別経営体1人、農事組合法人平形農園、株式会社アグリ東北) ……………	栗 原	42
(7) 加工用ばれいしょ栽培技術の向上 加工用ばれいしょ栽培技術の向上 登米ぼてと組合(6人) ……………	登 米	44
(8) 石巻地域の施設園芸を牽引するいちご産地のレベルアップ 産地を形成する多様な担い手のステップアップによるいちごの産出額向上 石巻苺生産組合(16戸)、河南いちご生産組合(13戸)、やもといちご生産組合(7戸) 株式会社いちごランド石巻、株式会社トライベリーファーム、 株式会社アグリパレット、株式会社黄金ファーム、株式会社イグナルファーム、 株式会社サンエイト、株式会社アソラ……………	石 巻	46
(9) 地域のモデルとなる園芸法人の収量アップ 地域のモデルとなる園芸法人の育成強化 有限会社サントマト石巻、株式会社DannyFarm、 株式会社絆粋ファーマーズ……………	石 巻	48

## II プロジェクト課題の活動事例 時代のニーズに対応した農畜産物の安定供給

### 1 みやぎの食と農への理解促進と安全・安心な農畜産物生産の取組支援

(1) ねぎ産地における高品質の周年出荷に向けて ねぎ産地における冬越し囲い栽培の安定化と環境にやさしい栽培技術の取組拡大 J A加美よつばねぎ部会若手生産者3人、J A加美よつばねぎ部会員77人、 株式会社清流しかま、タカノー産業株式会社……………	大 崎	52
(2) シャインマスカットによる中山間地域振興 直売所と連携した中山間地域でのぶどうの生産・販売 管内シャインマスカット導入者18人 (J A加美よつば組員5人、あ・ら伊達な道の駅出荷組員13人) ……………	大 崎	54

## 2 多様化する需要の変化に対応した生産・販路拡大への取組支援

- (1) 中山間地域における農業の維持発展に向けて  
中山間地農業を担う新たな営農体制の構築  
農事組合法人ふるせきファーム10人……………大河原 56
- (2) 実需のニーズに応じた高品質生産を目指して  
実需のニーズに応じた「吟のいろは」の品質向上と栽培定着  
松山町酒米研究会「吟のいろは」生産者14人……………美 里 58

## III プロジェクト課題の活動事例 多彩な「なりわい」の創出や多様な人材・機関との連携による持続可能な農業・農村の構築

### 1 地域資源や地域の特色を活かした営農・所得確保等に向けた取組支援

- (1) 石巻地域でのアスパラガスの産地化を目指す  
地域活性化に向けた高収益作物（アスパラガス）の導入・定着  
アスパラガス研究会（20経営体）……………石 巻 62

### 2 関係機関等との連携強化と合意形成推進による地域農業の維持・発展支援

- (1) 集落営農組織の体制強化と経営発展に向けて  
集落営農組織の体制強化と経営発展  
県内集落営農組織  
（「地域を守る、集落営農モデル支援事業」の支援対象5組織）……………革 新 64

### 3 環境に配慮した持続可能な農業生産の取組支援

- (1) 人と環境にやさしいズッキーニ栽培に向けて  
人と環境にやさしいズッキーニ栽培と収益力の向上  
J A新みやぎ栗っこズッキーニ部会 実証担当農家3人……………栗 原 66

### 4 大規模自然災害等からの復旧・復興に向けた支援

- (1) 地域担い手の持続的な発展を目指して  
持続的な地域営農の実現に向けた担い手の経営安定  
田表機械利用組合（組合員及びオペレーター）……………気仙沼 68

## IV 各農業改良普及センターの重点活動と一般活動の紹介

1	大河原農業改良普及センター	72
2	亘 理農業改良普及センター	74
3	仙 台農業改良普及センター	76
4	大 崎農業改良普及センター	78
5	美 里農業改良普及センター	80
6	栗 原農業改良普及センター	82
7	登 米農業改良普及センター	84
8	石 巻農業改良普及センター	86
9	気仙沼農業改良普及センター	88

## V 令和4年度農業普及関係各種表彰事業受賞者概要 …… 92

## VI 令和4年度農業改良普及事業関係主要行事实施状況 …… 96

## VII 令和4年度各農業改良普及センタープロジェクト課題一覧 …… 97